

「O-SEP_TMU-TMDU」が開催されました

2021年3月9日(火)、日本時間午前10時より、学術交流協定を締結している台湾の台北医学大学口腔医学院(College of Oral Medicine, Taipei Medical University、以下 TMU)の学生と本学の歯学部口腔保健学科 口腔保健工学専攻の学生により、「O-SEP_TMU-TMDU」(歯学部国際交流委員会主催)を開催いたしました。

この「O-SEP」は、Online Students' Exchange Program の略で、COVID-19 によるコロナ禍のため留学を含め海外渡航ができない中、渡航に代わる新たな国際交流の取組として歯学部国際交流委員会により企画されています。申請されたプログラム活動の実施状況に対して、歯学部国際交流委員会が一律の活動ポイント(AP: Activity Points)を設定し、「デンタルエクスターンシップ」などの科目単位付与ができるものです。

口腔保健工学専攻では2013年から毎年「グローバル口腔保健工学実習」において台湾へ海外特別研修を行っていますが、今年はCOVID-19の影響のためウェブ会議システムを用いての開催となりました。

午前の部は、本学は33名(教員9名、学生のオンライン参加8名、本学講義室及び実習室での参加16名)、TMUは台北の講義室に教員5名と学生15名が参集する形での開催となりました。両校の教員による挨拶の後、45分間のカービングコンテストを行いました。午後の部は、本学25名の学生はオンライン、TMUは引き続き講義室に集まる形での交流となりました。TMU2名の学生によるプレゼンテーションの後、質疑応答の時間では本学の学生も興味のある事項について積極的に質問を行いました。続いて、7グループに分かれて自己紹介等のアイスブレイクを行い、お互いに緊張をほぐしていきました。そして、メインのグループディスカッションでは、「観光地、音楽、食文化、COVID、歯科技工」のテーマ別に事前に用意したスライドを用いて盛んな意見交換を行いました。オンラインで情報を共有しながら話し合うことへの障壁や英語でのコミュニケーションの難しさを感じながらも、最終的には笑顔を交えながらの交流の時間となりました。TMUの学生が優勝となったカービングコンテストの表彰も学生たちの日々の実習に向かうモチベーション向上になったようです。

コロナ禍において様々な壁を乗り越えながら交流を続けることの大切さや有難さを改めて実感できる有意義な時間となりました。

